

都城市議会議長 様

提出日 令和 8 年 6 月 25 日

視 察 報 告 書

川内 賢幸

以下のとおり視察の報告をいたします。

1 会派名及び視察者名

自民党市民の会

視察者：川内賢幸、成合まるみか【オブザーバー 杉村ともえ議員】

2 視察先・テーマ及び日時

◎5 月 25 日（月） 14 時 00 分～16 時 00 分

視察先：子育て世代活動支援センター ふれびか

説明者：指定管理者 施設長 こども政策課

3 視察の内容

視察先に選んだ理由は、施設の運営が始まって 8 年目となり、施設の運営状況や市民の利用状況など課題がないかを調査する目的で視察先に選んだ。

◎子育て支援センター

施設の遊具の状況、開催イベント、利用者へのサポート、一時預かりの現状、利用者の声などについて伺った。

◎おひさまテラス

遊具の状況、夏場の対応、利用状況を伺った。

◎プレイルーム

利用方法、利用時の注意点、怪我の報告などを伺った。

4 視察の感想

◎子育て支援センター

当日は平日の昼間であったが、複数の親子が利用しており、一角では赤ちゃんパークも開催されていた。室内では、職員の皆さまによる声掛けやお子さんの保育サポートなどもみられた。壁面には、施設利用の感想も掲示してありいただいた意見に対する対応も記されていた。一時預かりについても状況を確認できた。

◎おひさまテラス

視察時は雨の影響から利用は休止だったが、晴れの日利用は多いとのことであった。特に砂場が人気とのこと。

◎プレイルーム

複数の親子が利用していた。子どもたちは利用者が少なかったこともあり大変喜んで利用されていた。

5 視察の成果及び市政への反映等

◎子育て支援センター

細やかなサポート体制を築けるように、管理者の努力が伺えた。施設利用者の状況としては、子どもを連れて設置遊具で遊ばせることを基本としており、自宅にはない遊具で遊ぶこどもの姿も確認できた。

【見えた課題】

① 8年間で遊具の更新がなされておらず新鮮味にかけると感じた。

また、利用ごとに玩具等の消毒が必要となるが、すべて手作業で拭き掃除を行う状況であり、大型消毒機器があれば、消毒残しもなく、安心して利用もでき管理者の負担軽減も図れるのではと感じた。

② 一時預かりについては、職員手作りの玩具等がおかれており管理者の苦勞が見て取れた。工作を得意とする職員の長所を活かした対応とも言えるが、一時預かりがこども園のような機能も有していることを考えると、予算をつけて対応できないものかと感じた。

③ 利用中、保護者は子どもから目を離すことができなく、スマホの利用も原則認めていないことから、保育の場所が家から子育てセンターに移っただけにも感じた。もちろん環境変化は大事であるが、子育て世代活動支援センターとしては、親が息抜きできる空間、時間を確保する役割が欲しいところ。施設のあり方を再考したほうが良いと感じた。

◎おひさまテラス

視察時は雨の影響から利用は休止だったが、晴れの日利用は多いとのことであった。特に砂場が人気とのこと。

【見えた課題】

① 砂場が一番人気とのことだが、利用と利用の間には消毒作業が発生することもあり、その労力の軽減が図れないものかと感じた。

② おひさまテラスなので、開放感が求められるが、屋根がほとんどないこと、ミスト散布もないから夏場の熱中症対応が必要と感じた。

◎プレイルーム

複数の親子が利用していた。子どもたちは利用者が少なかったこともあり大変喜んで利用されていた。

【見えた課題】

- ① 1回あたり45分の利用となるが、子育て支援センターと同じく親が常時見ていることが条件となっているため、保護者のゆとりの時間を確保することはできず、少しの間、図書館やテラスタに行くこともできないため、職員配置も含めて今後の課題であると感じた。トイレに単独で行くこともできない点も課題。
- ② 施設の良さと、こどもの予想外の動きに対応するには施設運用のあり方を替えていく必要がある。実際に過去怪我をした事例もあり、楽しく利用してもらうためにはさらなる工夫が必要と感じた。

6 添付資料

